

領家中だより

令和5年1月31日
横浜市立 領家 中学校
学校長 熊野 リカ

横浜市泉区領家 4-3-1 TEL 811-6641 FAX 812-9645

No. 9

“備える”を考える

校長 熊野 リカ

年末から、寒い日が続いています。大寒波の影響で交通や生活にも支障が出ており、毎日のように雪による被害が報道されています。つい先日は、JR西日本の車内アナウンスがニュースになりました。「自己責任というのはひどいんじゃないか」「安全を確保しなければならないJRの労をねぎらうべきだ」「そもそも雪の予報は出ていたのに事前に工夫できなかったのか」などなど、報道に対する意見は賛否両論あり、その意見に対する意見もまた様々。十人十色というように、人の数だけ思いがあるのだと改めて痛感しました。

それらの声の中でとりわけ印象に残っているのは、専門家が口にした言葉で「普段どれだけ訓練しているか、災害を想定した対策を準備しているかが問われる」というものです。人が多ければ多いほど思いも多種多様なだけに、全員が納得する結論を出していくことは難しい。納得に少しでも近づけるためには「なぜそうしたのか」という理由が肝心だとその言葉を聞き、考えていました。“非日常”である災害時では、経験の少なさから意見がより様々になるのかもしれませんが、「訓練」を大切にしなければという思いが強くなります。

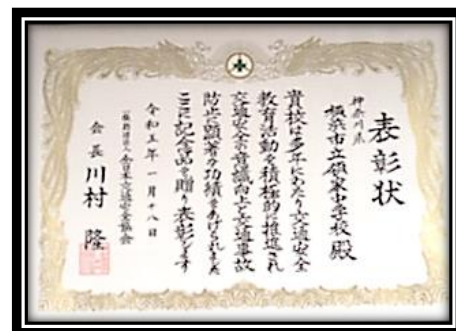
1月15日、本校校庭で地域の防災訓練が行われました。防災拠点としての本格的な訓練は、地域の方の丁寧な準備により、滞りなく進みました。避難してきた方の誘導、体調確認、トイレなど生活に欠かせない設備の設置などなど、「何に困るか」を具体的にイメージしながら進められてきたことがよくわかりました。もちろん、どれだけ用意周到と思っても、実際の災害時には想定以上のことが起きるかもしれません。それでも、「かもしれない」と考えておくことは、いざという時の判断に役立つはず。そういったことを共有してこそ、より多くの“納得”に近づくのでしょう。

学校としても、保護者の皆様や地域の皆様からいろいろな声を頂戴いたします。どの声にも耳を傾け、真摯に向き合うつもりでおりますが、是とする声・非とする声がともにあるのもまた事実で、学校として出した方向も、どなたかのご意見に添い、どなたかのご意見には異なることでしょう。そうだととしても、皆様に納得・ご理解いただけますよう、十分に吟味し、丁寧に説明するつもりでおりますので、変わらずお見守りいただければと思います。

最後になりますが、今年度、全日本交通安全協会様より、交通安全優良校として領家中学校が表彰をされました。災害とは異なりますが、事故もまた、予測のつかない“非日常”であり、どこかで「自分は大丈夫」と思ってしまいがちなものです。日頃からの備えが大切と、学校としても毎年泉警察署の協力を得て交通安全教室を行ってきました。

地道な取組の大切さをかみしめながら、生徒の安心・安全を守る活動をしっかり行ってまいります。

ガラス製の素敵な盾もいただきました。



神奈川県代表として表彰されました。



校内書き初め展

1月12日(水)～1月27日(金)

冬休みに生徒たちが書いた「書き初め作品」が、教室やホールに掲示されています。

2023年の抱負や想いを文字に込め、新春にふさわしく、堂々とした作品が多く見られます。

3年生の国語の授業で「書道の意義」について聞くと、ある生徒が次のように答えました。「自分の思いや感情を目に見える形で、他人に伝えることができる。その書体や丁寧さから、書いた人の心が分かり、多くの人と共有し、分かち合うことも意義だと思う。また、紙に書くことで後世に、その思いを伝え続けることもできるものだ。」その通りだなあと改めて思いました。

日本語に「言霊」という語があります。「言葉のもつ不思議な働き」のことです。前向きな言葉には、気持ちや行動をプラスにするエネルギーがあるということです。(逆もまた然りですが。)新春に書いた言葉のような令和5年になりますように。

(3学年国語担当 遠藤美智)

1年生 職業講話

昨年12月2日(金)に1年生を対象とした職業講話が行われました。それに向け9月頃から総合の時間を使って「仕事」について考えてきました。ラーメン1杯ができるのにどれくらいの仕事関わっているかを考えるところから始まり、たくさんの知らなかった職業を知ったり、自分のタイプに合った仕事について調べてみたりしながら「仕事」について関心を高めました。職業講話当日は、「金沢動物園」「FM横浜」「伊藤園」「市営地下鉄」「横浜Fマリノス」「紅梅組」の6つの企業をお招きし、それぞれの現場で働いている方々のお話を聞くことができました。そして学んだことをグループごとにクロムブックを使ってまとめ、クラスで共有することで学びを深めました。職業に関することや働くことの意義・やりがいなどを直接知ることができる貴重な体験になったと思います。来年度に予定されている職場体験も楽しみです。

(1学年総合担当 高砂秀星)



生徒会本部 挨拶運動実施

昨年の夏、領家中の生徒会本部・鳥が丘小学校・西が岡小学校児童会の児童が集まり、「領家中ブロックのよこはま子ども会議」が行われました。その前の年の会議の中で、「小中合同で、地域の方へのあいさつ運動をしよう！」という計画が発案され、色々と準備を進めてきましたが、緊急事態宣言の発令により、実施が叶いませんでした。それを計画した先輩達の想いを引き継ぎ、「今年こそは実施させたい！」という3校の強い気持ちが、今年やっと実現に繋がりました。

12月22日（木）。「そうてつローゼン山手台店」の前で、本校の生徒会役員・鳥が丘小・西が岡小の児童と総勢20名程度で、地域の方々に向けて「こんにちは」のあいさつ運動をしました。地域の方々にあいさつを返してもらったり、「ご苦労様」と言われたりすると、とてもうれしそうにしている生徒や児童の姿が印象的でした。コロナ禍で、あいさつできえも憚られる時代になってしまいましたが、地域の方々と少しでも「あいさつ」で繋がることができましたと思います。このあいさつ運動を機に、領家中の校内であいさつが活発に飛び交う学校にしていきたい。そしてまたこのような機会があれば、小学生と一緒に、地域の方への日頃の感謝を伝えていきたいと思いました。

（生徒会本部担当 賀川奈央子）